

5 総合的な治水対策の推進



5 総合的な治水対策の推進

総合的な治水対策の推進のしくみ



- ① 要綱の制定
- ② 県・流域市で構成する推進協議会の設置
- ③ 共同計画の策定

武庫川流域
総合治水推進計画
【県原案】

平成22年1月
推進協議会

兵庫県、神戸市
尼崎市、西宮市
伊丹市、宝塚市
三田市、篠山市

武庫川の総合的な治水対策総括図



4 武庫川の課題を踏まえた治水対策の選定

計画期間

河川整備計画の一般的な計画対象期間は
20～30年



早期に整備効果を得るため、
最短の20年に設定

6 洪水に対する安全度のさらなる向上

昭和58年洪水時の阪神電鉄橋梁付近

6 洪水に対する安全度のさらなる向上

洪水に対する安全度のさらなる向上

平成21年8月には、千種川水系の佐用川で、過去に経験したことのない大きな洪水が発生



このような現実を踏まえると、多くの人口・資産を抱える武庫川では、**河川整備基本方針の目標達成に向けて、洪水に対するさらなる安全度の向上が必要**



千苅ダムの治水活用、武庫川峡谷での新規ダム建設等について、

- ①その必要性・実現可能性の検討を継続
- ②具体的な方向性が定まった場合には、計画上の取り扱いについて検討

兵庫各地で記録的豪雨





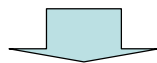
7 動植物の生活環境の保全・再生

7 動植物の生活環境の保全・再生

武庫川水系に生息・生育する生物及び
その生活環境の持続に関する2つの原則

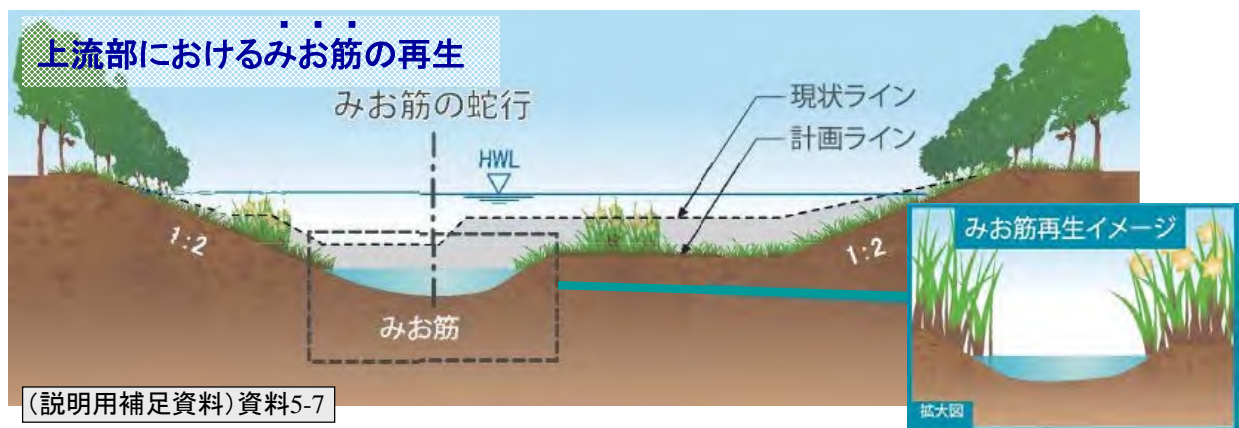
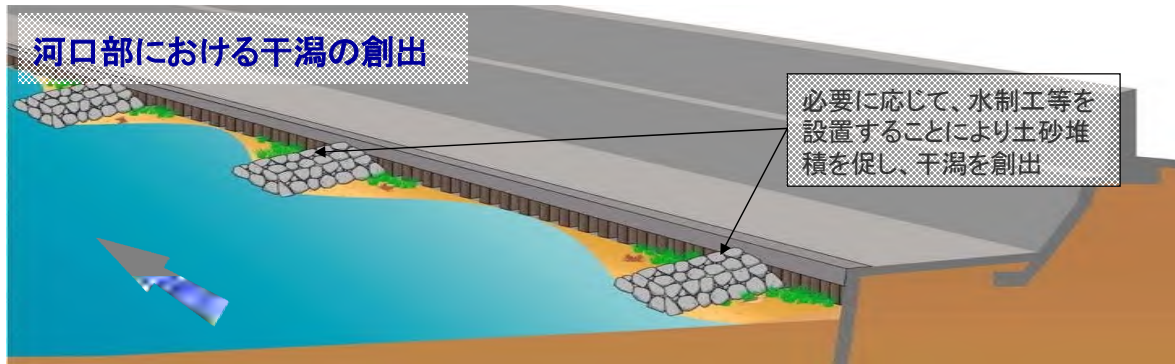
【原則1】流域内で種の絶滅を招かない

【原則2】流域内に残る
優れた「生物の生活空間」の
総量を維持する



河川整備の際には、この原則を踏まえ、
河川環境の整備と保全を適切に行う。

「2つの原則」に基づく環境への配慮例



8 河川整備計画(原案)の構成など



策定済

武庫川水系
河川整備**基本方針**



平成21年3月
兵庫県

長期的な最終目標



段階的に安全度を向上
させる整備内容

今回

武庫川水系
河川**整備計画**
(原案)



平成22年1月
兵庫県

(説明用補足資料)資料5-9

武庫川の総合的な治水対策 を進める3つの計画

- ①武庫川水系河川整備**基本方針**
- ②武庫川水系河川**整備計画**(原案)
- ③武庫川流域総合治水**推進計画**(県原案)

今回

武庫川流域
総合治水**推進計画**
【県原案】



平成22年1月
推進協議会

兵庫県、神戸市
尼崎市、西宮市
伊丹市、宝塚市
三田市、篠山市



なぜ原案か

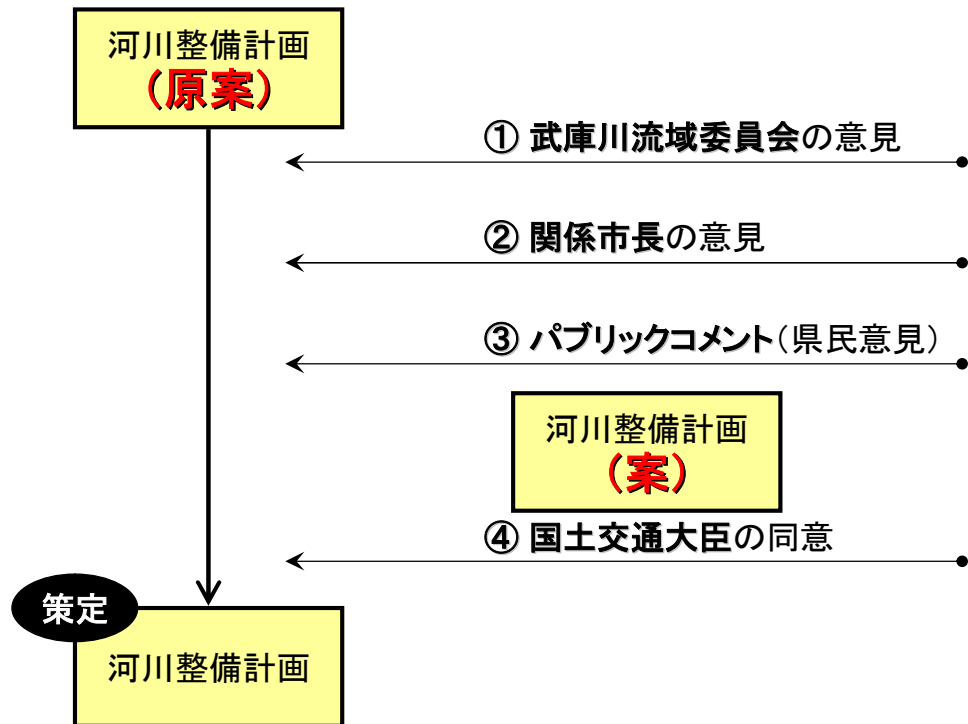
基本方針の目標達成に向けて
概ね20~30年間で実施する
河川整備の内容

今回

武庫川水系
河川**整備計画**
(原案)

平成22年1月
兵庫県

原案から計画策定までの流れ



武庫川水系河川整備計画(原案)の構成

章構成	内容
第1章 はじめに	全体の要約
第2章 武庫川の概要	現状と課題
第3章 河川整備計画の目標 に関する事項	目標
第4章 河川整備の実施 に関する事項	実施内容

終

ここまでの説明内容を中心に、「河川整備計画(原案)」等を見ていただきながら、続けて説明していきます。

